

【公表】事業所における自己評価総括表

事業所名	児童ルームタッチキッズ 放課後等デイサービス			
保護者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月28日			
保護者評価有効回答数	対象者数	42名	回答者数	33名
従業者評価実施期間	令和6年9月1日～令和6年9月28日			
従業者評価有効回答数	対象者数	8名	回答者数	8名
総括表作成日	令和6年11月1日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・拡充を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験豊富な専門職が従事している。	・保育士、児童指導員、言語聴覚士等各分野において職員を配置し療育の質が落ちないように工夫している。また、率先して意見やリードを行っている。	・支援内容や専門性の質を高める為、会議や研修は多く参加をしていく。
2	・職員間でのミーティングをこまめに行い情報共有や疑問解決を行っている。	・こまめなミーティングを月2回は行い、会議時間を設けない日でも気になる事がると話し合い申し送り用紙等に記録し、短時間勤務の職員や休みの職員への伝達をその都度行っている。	・勤務の関係上難しい事もあるが大きなイベント(夏祭り、保護者交流会等)は打ち合わせ段階から短時間勤務の職員も参加出来る様に工夫をし多くの意見を取り入れる事が出来る様にしていきたい。
3	・自立支援や日常生活の充実の為に活動を日々取り入れている。	・活動を通して季節に合ったイベントを取り入れ、日常生活での動作の習得や集団活動への適応のに向けた支援を行う。	・経験や体験を増やし個々の自信に繋がる様に心掛けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組みや 工夫が必要な点等
1	・療育のスペースを十分に確保する事が出来ない。	・利用者は低学年が多く上手くコミュニケーションがとれず職員が介入する場面が多い。その際に十分な話し合いの場を設けたいが周囲が気になり解決までに時間がかかる事がある。	・構造上部屋数自体を増やす事は難しいがコミュニケーションの取り方、利用者同士の関わり方に目を向け気になる際や話し合いが必要な際は十分な場所を確保出来る様にしていく。また、活動内容にも制限がかけられない様にグループ活動を重点的に行っていく。
2	・保護者同士の関わり、兄弟児、少人数での親子との関わり等が少ない。	・保護者交流会は、年2回開催しているがご都合上参加が困難なご家族がいる。	・少人数グループイベントなどを検討し今後参加して頂ける様に検討をしていく。
3	・地域交流の機会が少ない。	・利用者の安全を考え行っていない内容もあり、実施できていない状況である。	・地域施設や公共機関と連携し地域交流の機会、経験が制限されないようにしていく。また、地域交流としては図書館利用を数回行っている為今後も増やしていく。